

PD フォークバルブ 取扱い・取付け説明書

この度は、YSS 製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

正しく取り扱い、取り付けることで、PD フォークバルブ(以下、本製品)のパフォーマンスをお楽しみいただけます。

ご使用の前に

- ※ 本製品を取り付け、ご使用になる前に、必ず取り付け・取り扱い説明書をよくお読み下さい。
- ※ 取り付け車輌の、メーカーが発行するサービスマニュアルをご参照の上、分解・組み立て作業を行って下さい。
- ※ 必要に応じて、フォークスプリング、フォークシールや、フォークオイルの交換を行って下さい。

取り付ける前に

- エンジン始動後、および停止後、しばらくの間エンジン・マフラーなどは高温になっています。必ず各部の熱気が冷めてから作業を行って下さい。
- 作業を行う際には、水平な場所で車輌を安定させた安全な場所で行って下さい。
- 製品の取り付けから約 100 km 走行後に、各部ボルト、ナットの緩みが無い事を確認し、緩んでいる場合は、規定トルクで増し締めして下さい。
- 走行中に何らかの異常が発生した場合は、直ちに走行を中止し、安全な場所に停止して異常箇所の点検を行って下さい。安全に運行を行えない状況の場合は、絶対に車輌を運行しないで下さい。

取り付け手順

- ① サービスマニュアルを参照し、フロントフォークを取り外し、フロントフォークを分解して下さい。
- ② 必要に応じてフォークシールの交換を行って下さい。フォークシールを交換しない場合は、インナーチューブとアウターチューブを分離しないで下さい。フォークシールを取り外した場合は、絶対に再使用しないで下さい。
- ③ フォークオイルを抜き取り、ピストンロッドを洗浄して下さい。
- ④ 本製品の寸法に間違いが無い事をご確認下さい。適合サイズは、フォークスプリングの外径以下、内径以上の寸法です。
- ⑤ ピストンロッドのピストン上面に本製品のナット側の段差面をセットして下さい。

ポイント…本製品のナット側段差面とピストン上面の、それぞれの面が接触せずに浮いたり、隙間がない事をご確認下さい。(図Aの状態)

それぞれの面が接触せずに浮いたり、隙間がある場合(図Bや図Cの状態)は、アダプターを別途製作して、図B-1や図C-1の状態でご使用下さい。

- ⑥ 本製品のバルブスプリングプリロードの調整を行います。プリドード 0mm 位置を確認し、0mm 位置から 2 回転締め込んだ状態でロックナットを固定して下さい。

ポイント…バルブスプリングのプリロード量を変更する事により、ブレーキング時や、フロントダイブ時の反応速度を調整する事が可能になります。

- ⑦ 本製品を組み込むと本体部分の厚み分、フォークスプリングにプリロード荷重が掛かります。

注意；フォークスプリングのプリロードが懸かりすぎている場合は、スプリングスペーサーまたは、フォークスプリングを、本製品の本体部分の厚み分カットする事をお勧めします。

- ⑧ 規定量の 2/3 程度のフォークオイルを注入し、数回ストロークさせエア抜きし、本製品のボルトトップをフォークトップ方向へ向けてフロントフォーク内へセットし、フロントフォークの油面調整を行って下さい。

注意；フォークオイルはメーカー指定のオイル粘度を使用し、走行ステージに合わせて粘度の変更を行って下さい。

- ⑨ フォークスプリングを組込み、トップキャップを締め付け、フロントフォークを元の通りに車輌に組み付けて下さい。

- ⑩ 各ボルト、ナットの締め付けを再確認して下さい。以上で取付けは終了です。

好みに合わせてオイル粘度の変更や、バルブスプリングのプリロードなどを調整してセッティングをお楽しみに下さい。

